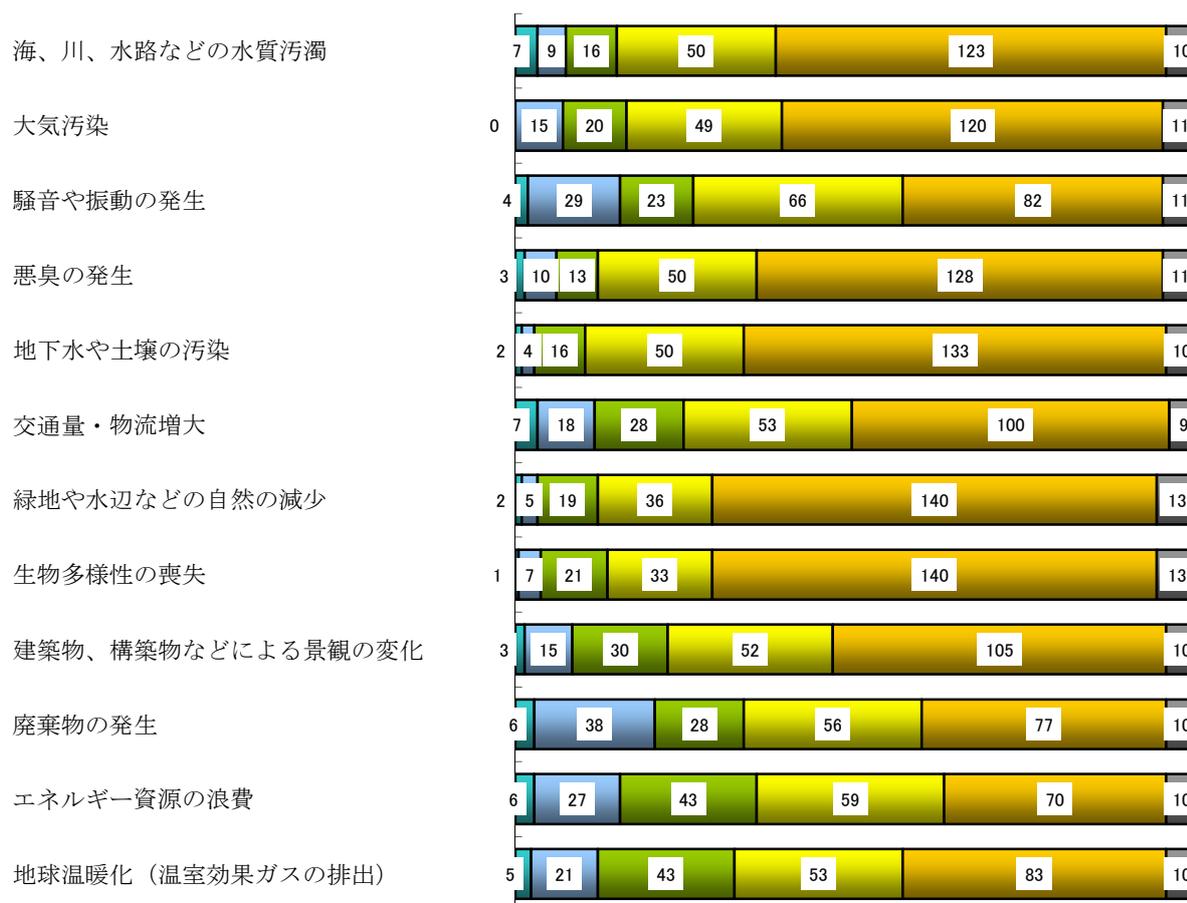


問4 あなたの事業所の事業活動が地域の環境に及ぼしている影響について

事業活動が地域の環境に及ぼしている影響について、「影響を与えている」、「若干影響を与えている」の回答の割合が多かったものは「廃棄物の発生」、「エネルギー資源の浪費」、「騒音の発生」であり、建設業に多く見られました。しかし、全体的にはどの項目も「ほとんど影響を与えていない」「影響を与えていない」が回答の6～7割を占めており、多くの事業所の事業活動は、地域の環境に影響はないという回答になっています。

◆事業活動が地域の環境に及ぼす影響 【単位：事業所数】

- 影響を与えている
- 若干影響を与えている
- どちらともいえない
- ほとんど影響を与えていない
- 影響を与えていない
- 無回答

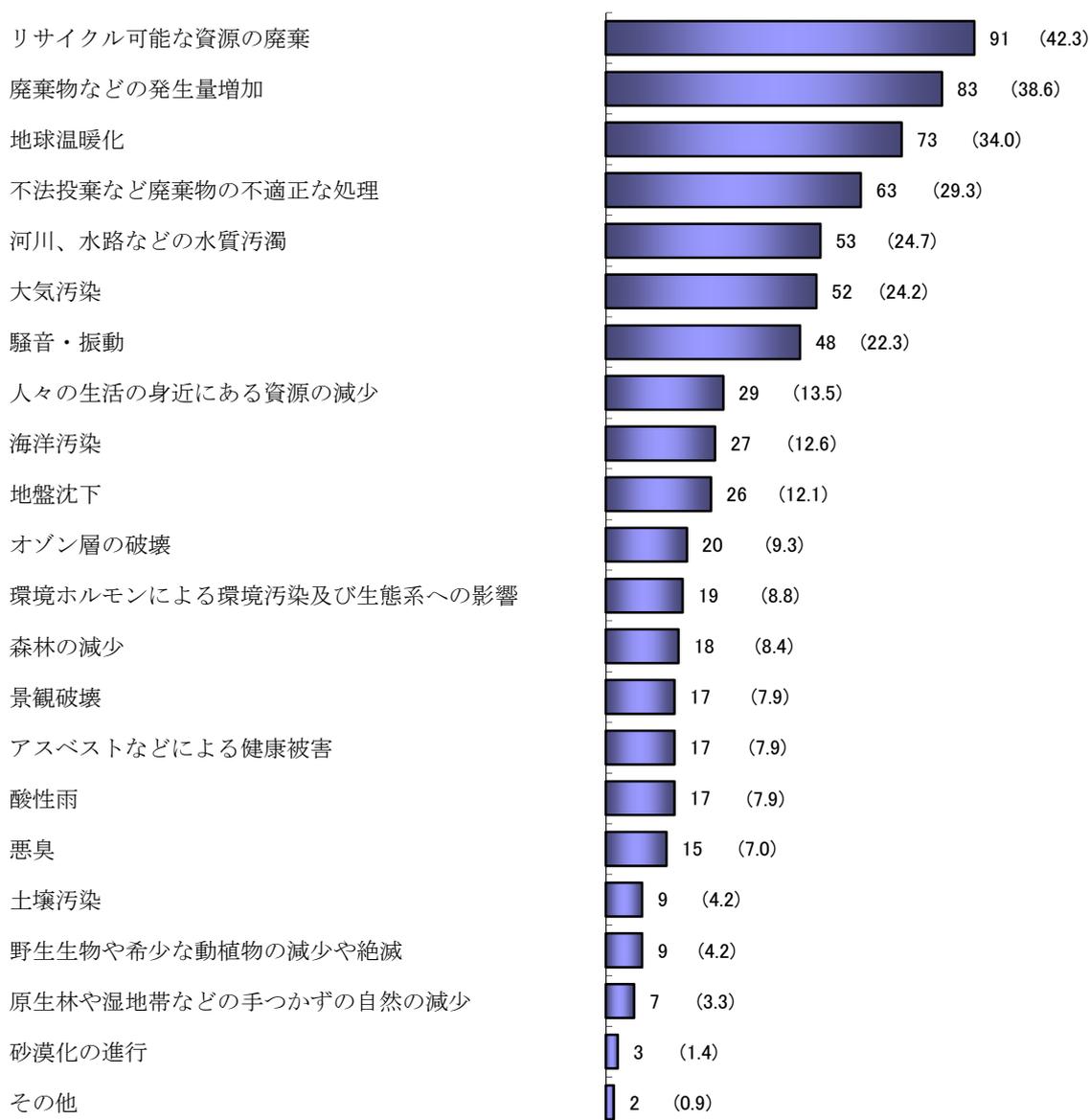


問5 どのような環境問題に関心がありますか

関心のある環境問題の上位は「リサイクル可能な資源の廃棄」、「廃棄物などの発生量増加」、「地球温暖化」となっており、事業活動をする上で出てくる廃棄物の問題に多くの関心が集まる形となりました。一方であまり選択されなかった環境問題は、「砂漠化の進行」、「原生林や湿地帯などの手つかずの自然の減少」、「土壌汚染」などです。

「その他」に挙げられたものとしては、「原子力発電による放射能汚染」や「中国からのPM2.5等による汚染」などがあります。

◆関心のある環境問題 【複数回答 単位：事業所数（%）】

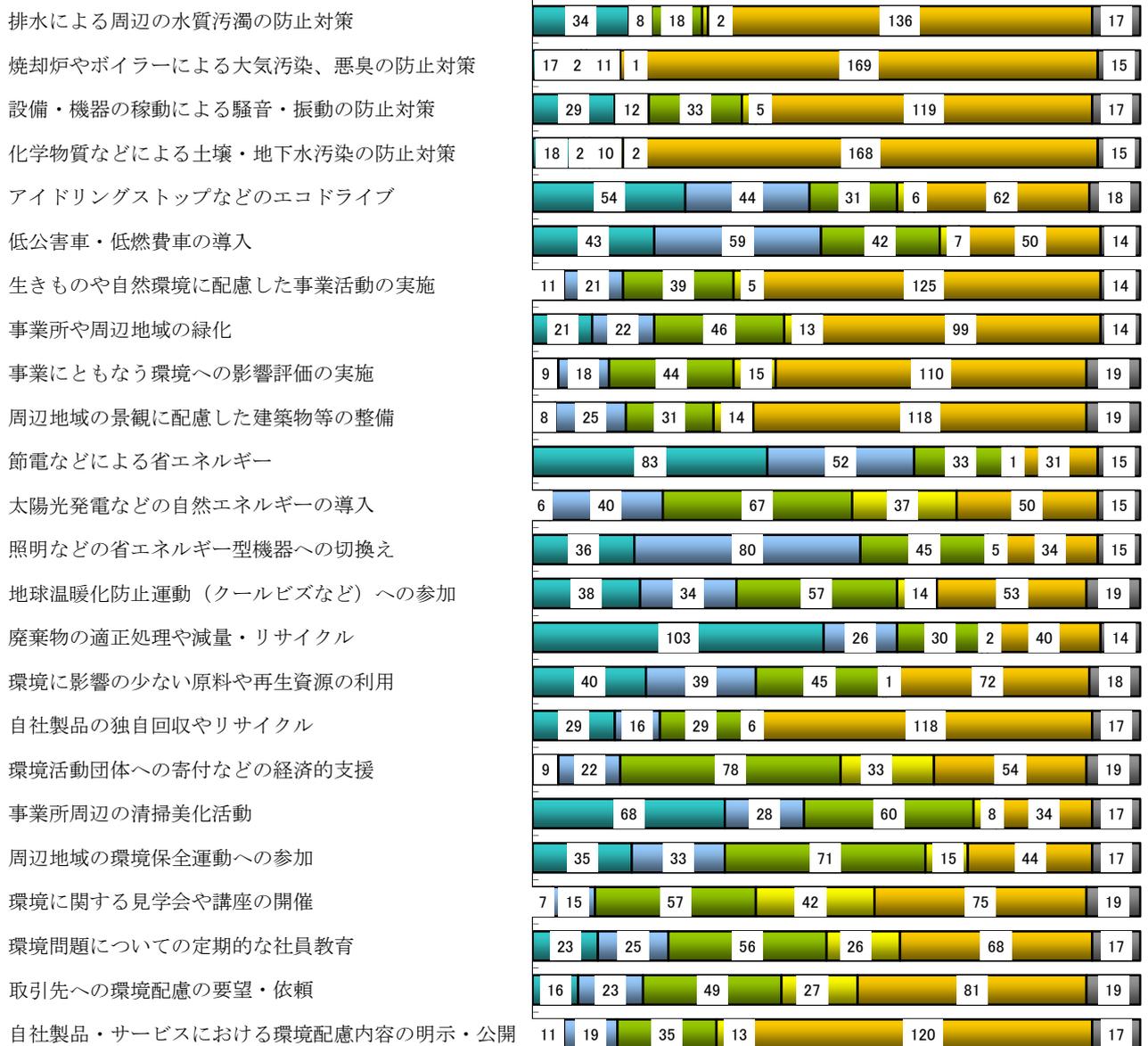


問6 事業所で行っている環境問題への取り組みについて

「既に実行している」との答えが多かった項目は「廃棄物の適正処理や減量・リサイクル」、「節電などによる省エネルギー」、「事業所周辺の清掃美化活動」などであり、また「今後実行したい」、「支障がなければ実行したい」に多く回答が集まった項目には、「太陽光発電などの自然エネルギーの導入」、「照明などの省エネルギー型機器への切换え」、「アイドリングストップなどのエコドライブ」となっており、エネルギーの節約に大きな関心があることが伺えます。

◆事業所で行っている環境問題への取り組み 【単位：事業所数】

- 既に実行している
- 今後実行したい
- 支障がなければ実行したい
- 実行するつもりはない
- 当事業所には該当しない
- 無回答



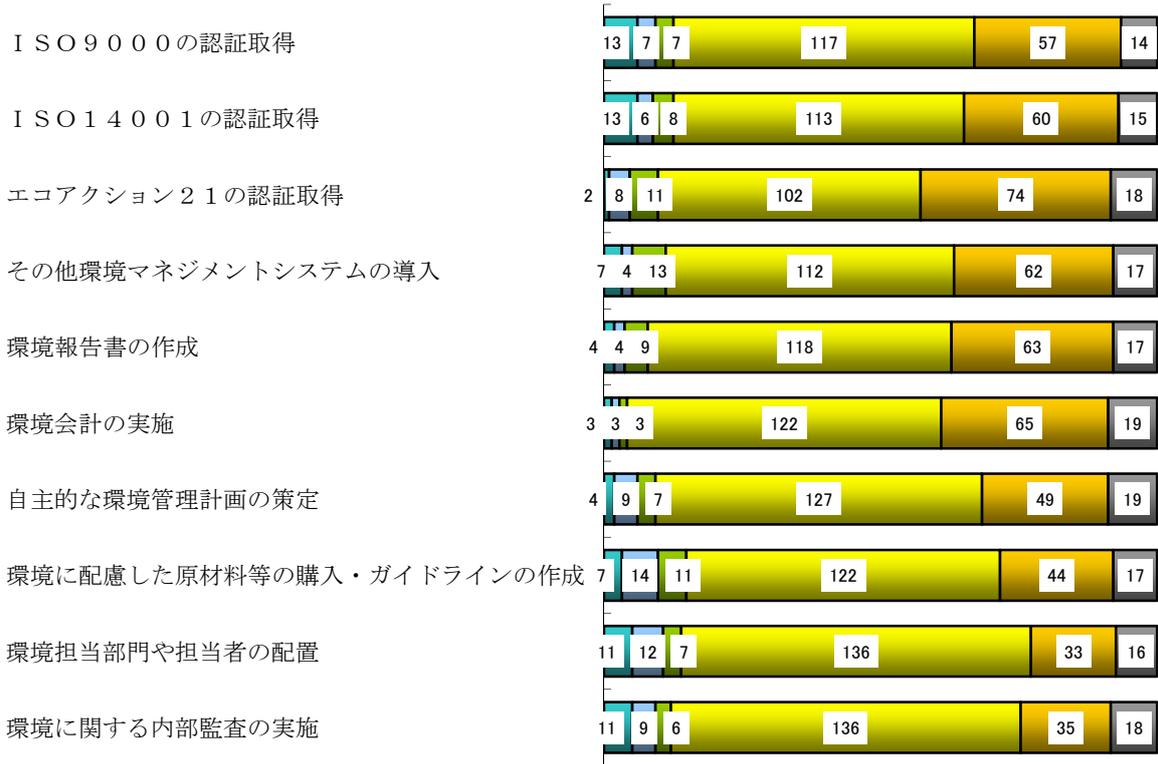
問7 環境に関する経営方針や管理手法を導入しているか

ISO9000、ISO14001、エコアクション 21 などの認証取得を既に実施していると答えた事業所は、全体の 1 割未満にとどまりました。認証取得していると答えた事業所の内、「建設業」と「金融・保険業」が 7 割を占めています。

問3の結果のように、従業員数が「5 人未満」、「5～20 人未満」という小規模な事業所が全体の 8 割近くであるため、「実施の予定はない」、「どのようなものか知らない」という事業所がすべての項目で多く見られました。

◆環境に関する経営方針や管理手法 【単位：事業所数】

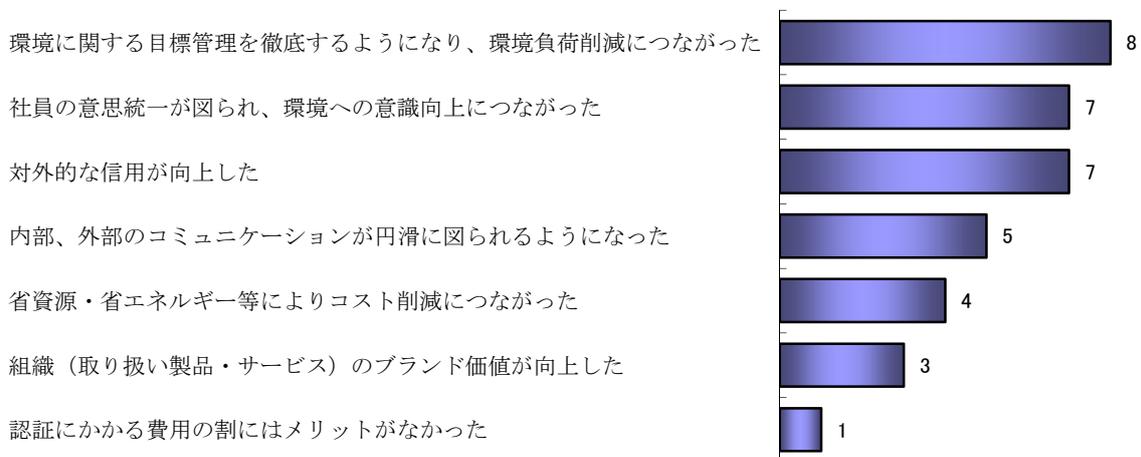
- 既に実施している
- 実施の予定はない
- 今後実施したい
- どのようなものか知らない
- 現在検討中である
- 無回答



問8 ISO14001、エコアクション21の認証取得によって得た効果について

取得によって得た効果として、「環境に関する目標管理を徹底するようになり、環境負荷削減につながった」の回答が一番多く、その他の効果にもそれぞれ多くの回答が集まりました。「認証にかかる費用の割にはメリットがなかった」と回答したのはわずかに1事業所であり、取得した事業所のほぼすべてがその効果を実感しています。

◆ISO14001、エコアクション21の認証取得によって得た効果 【単位：事業所数】

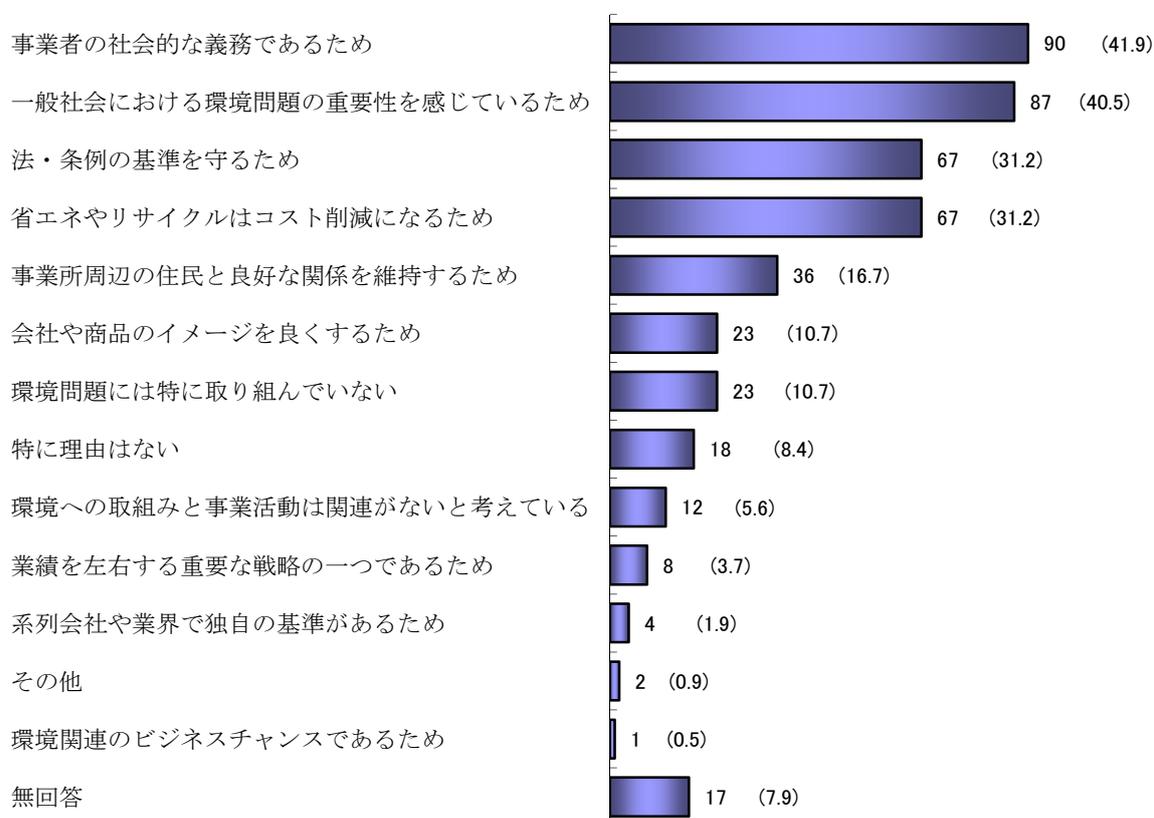


問9 環境問題に取り組む理由について

環境問題に取り組む理由については、「事業者の社会的な義務であるため」と回答した事業所が41.9%と最も多くなっています。また「一般社会における環境問題の重要性を感じているため」、「法、条例の基準を守るため」等の回答も多く、事業者のCSR（企業の社会的責任）活動への取り組みが伺えます。

「その他」に挙げられたものとして「未来の子供たちのため、美しい自然を守りたい」といった答えが見られました。

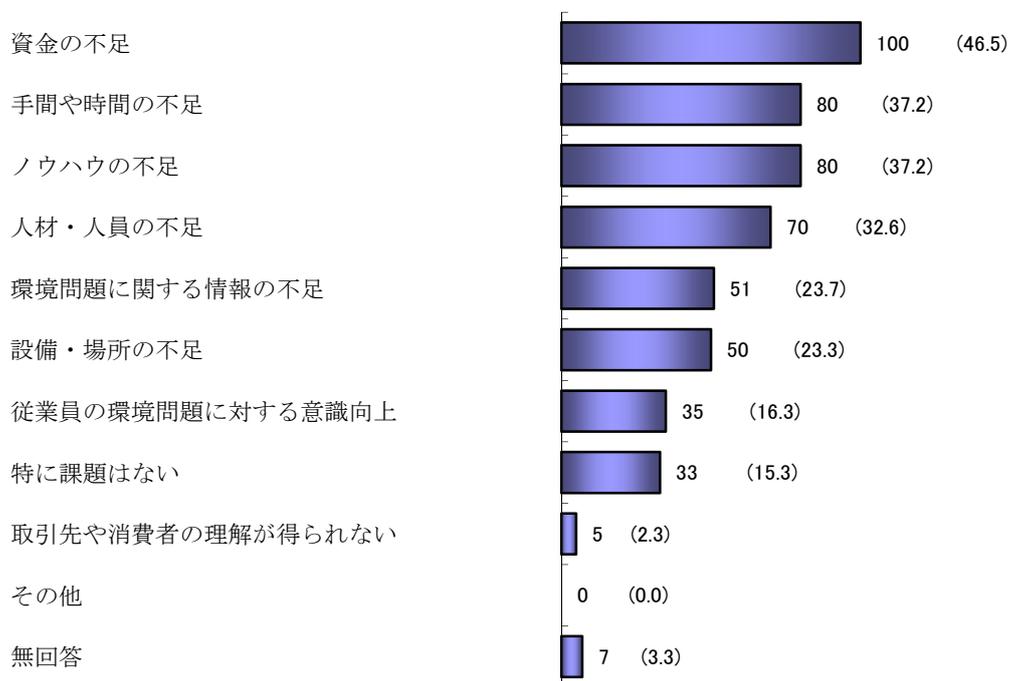
◆環境問題に取り組む理由 【複数回答 単位：事業所数（%）】



問10 環境問題に取り組むにあたって課題となることについて

最も多くの回答があった課題は「資金の不足」であり、約半数の事業所が課題に挙げています。そこに「手間や時間の不足」、「ノウハウの不足」、「人材・人員の不足」と続きます。「特に課題はない」と答えた事業所はおよそ15%ほどです。

◆環境問題に取り組むにあたっての課題 【複数回答 単位：事業所数 (%)】

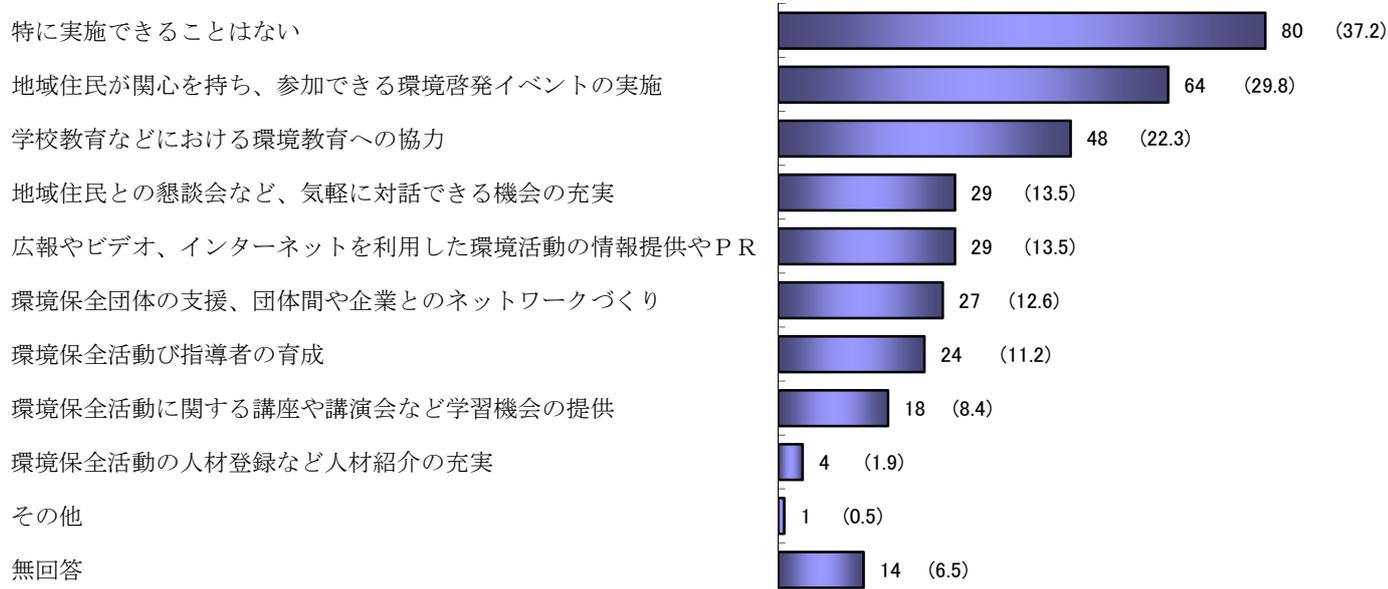


問 1 1 事業所が市民と共に推進できる環境保全活動について

推進できる保全活動として回答があったものの上位は、「地域住民が関心を持ち、参加できる環境啓発イベントの実施」、「学校教育などにおける環境教育への協力」となっています。しかし、「特に実施できることはない」と考えている事業所が全体の中では一番多く、37.2%の回答となっています。

「その他」に挙げられたものとしては、「ソーラー設備の導入」などです。

◆事業所が市民と共に推進できる環境保全活動 【複数回答 単位：事業所数 (%)】



問 1 2 八幡浜市の環境行政に望むことについて

八幡浜市の環境行政に望むことについては「規制や基準に関する説明会の開催やガイドブックの作成」が 39.1%と最も多く、「環境保全のための公的融資や補助金制度などの充実」、「環境配慮行動についての事例紹介や情報提供」がそれぞれ 30%を超える回答となっています。

「その他」に挙げられた回答として「問題に取り組むのか、ビジネスに取り組むのか行政がハッキリすること」というものがありました。

◆八幡浜の環境行政に望むこと 【複数回答 単位：事業所数 (%)】

